

白河地区保護司会

会報しらかわ

責任者
会長：三森 繁

サポートセンター
白河市表郷番沢字和田46-9
TEL 0248-21-5922

編集者：広報委員会
題字：金澤 暎仁

会報アドレス
http://www.srkw.or.jp/~mimo/hogoshi/

『カラクリ・ヨカッペ時計』



この大時計は、時代の日本音楽をリードし、グローバルな活動をされている音楽プロデューサー小室哲哉氏から「童里夢公園なかじま」の竣工を記念に贈られました。小室氏の祖父は中島村出身ということゆかりが深く、中島村のシンボルとしてみんなに親しまれています。

保護司信条

私たちが保護司は、社会奉仕の精神をもって

- 一、公平と誠実を旨とし、過ちに陥った人たちの更生に尽くします。
- 一、明るい社会を築くため、すべての人々と手を携え、犯罪や非行の防止に努めます。
- 一、常に研鑽に励み、人格識見の向上に努めます。

平成六年五月制定

再犯防止推進計画

白河地区保護司会
会長 三森 繁

当該地区保護司会サポートセンターは設置から二年目を迎え、対象者との面接など活用度は増加いたしております。また、他団体との協議する場としての利用も考えております。平成二十八年十二月、再犯の防止等の推進に関する法律が公布・施行されました。市民が安全で安心して暮らせる社会を実現するため、国及び地方公共団体の責務を明示するとともに、対策の基本的

事項を掲げ、再犯防止対策を総合的かつ計画的に推進することが定められています。また平成二十九年十二月に再犯防止推進計画が閣議決定されました。地方公共団体の責務は国との適切な役割分担を踏まえ、地域の状況に応じた再犯防止施策の実施のため「地方再犯防止推進計画」を早急に策定することが課せられています。当該地区保護司会といたしましては、地方公共団体に、この計画策定要望書を提出するところとす。地域の安全安心を高めていくには、地方公共団体はもとより町内会をはじめとする各種団体、民間企業等による地域連携が必要とす。この連携を強化するため、本年度は定職に就くことが容易でない刑務所出所者等を雇用し、改善更生にご協力いただく「協力雇用主」の要請をいたし、(仮称)白河地区協力雇用主会を設立したいと考え、十数社にお願いをいたしました。今後ますます保護司の役割は重要になってまいります。ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

私たちの役割と活動

白河地区更生保護女性会会長 安部かよ子

更生保護女性会は、犯罪や非行に陥った人たちの立ち直りを見守り、支えようと活動するボランティアの女性たちが集う組織です。愛の米一握り運動では、会員が持ち寄った玄米、白米、他に衣類など生活用品を福島自立更生促進センターや至道会にお届けしています。今年も福島刑務所被収容者支援活動や白河保育園児と子チミ焼きをして楽しい交流を致しました。

会員募集中(奥様方大歓迎)

私達の活動の現況

白河地区 保護司OB会長 内山重丸


私達、白河地区OB会は、保護観察所をはじめ各地区から熱心な要請を受け、退任した保護司に呼びかけて平成十九年四月三日に設立しました。目的と役割は、保護司活動への協力と会員相互の親睦をはかることです。年毎に高齢化が進み、意気軒昂なれども活動ままならず、当初十六名の我が会員も現在十四名で運営しています。定年若手の皆さんの入会で起死回生を願っております。

第35回 県更生保護大会

・十一月七日 喜多方市

● 受影者(白河地区)

- 法務大臣表彰 宇陀 大定
- 東北地方更正保護委員会委員長表彰 内藤 直方
- 東北地方保護司連盟会長表彰 大高 育雄
- 東北地方保護司連盟会長表彰内助功労者 有賀 良雄
- 安部 和夫 (安部かよ子保護司の志)
- 福島県知事感謝状 石田 久美子
- 福島県保護観察所長表彰 吉田 恵
- 福島県保護観察所長感謝状 芳賀 憲市
- ※民間協力者 株式会社 京葉興業 代表取締役 鈴木 和宏
- 福島県保護司会連合会会長表彰 砂塚 功



県更生保護大会に参加して

犯罪予防活動部会 國分和好

県更生保護大会の講演として株式会社「おくや」代表取締役松崎健太郎氏が、「未来に豆蒔くあったか仕事」と題して講演を行いました。

松崎先生は、福島県BBS連盟会員として、友愛と良識をもって非行予防や過ちを犯した人達の社会復帰に熱心に取り組んでいる方です。今は新任保護司としても活躍中です。

松崎先生は二十一歳で株式会社「おくや」を創業しましたが、なんと元は「スパリゾートハワイアンズ」でファイヤードンズをしていました。十九歳で結婚し、その後退職して喜多方に戻り、就職先も無く悩んでいた時に、たまたま小学校のアルバムを開きました。そこには「将来は社長になる」と書かれていたそうです。

そこで一念発起し会社を興し、農家を回り古米や豆を仕入れますが、作物の相場の変動を考え「こんな取引きではない」と作物を煮たり炒

つたりして製品にすることで安定した金額で買い取りを出るようになりました。

そんな時に中小企業家同友会で企業理念をつくる機会を得ました。そして、「未来に豆蒔くあったか仕事」という社是が出来上がりました。日本の豆料理、豆菓子文化の評判を下げないという想いで絶対に妥協せず美味しいものを作りました。豆を作る農家にも契約栽培で全量買い取りを基本として生活を守り、それを維持するために落花生の乾燥施設を作り、安定保存を実現することが出来ました。

会津は、昭和五十年頃に落花生の生産量が日本一でしたが、「千葉県産」として売られ表に出なかつたことから、今、再び会津を落花生の生産地として産業にも観光業にも貢献できる会社づくりをしています。利他の心を持って、自社の経営だけでなく会社に関わる全ての人を幸せにしたいという松崎先生の正に「未来に豆蒔くあったか仕事」を地でいく人柄が良く分かる講演でありました。

私達も保護司として人の幸せを願い、地域の安全・安心を守り犯罪のない街づくりに貢献することを再認識した実りある講演でありました。

協力企業等紹介

〈皆様方より、たくさんのご協力をいただきました。厚くお礼申し上げます〉

当保護司会の活動を推進するに当たり各種団体、企業及び個人の皆様からのご寄附等により運営しております。今後とも更生保護活動に対し、ご理解の上、一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- 有限会社 ヤマサ自動車整備工場
- 有限会社 いやさか
- 株式会社 京葉興業




退任・新任保護司紹介

- 退任
 - ・有賀 壽夫 (白河市) 平成30年5月31日
 - ・緑川 利衛 (白河市) 平成30年11月30日
- 新任
 - ・國分和好 (矢吹町) 平成30年6月1日
 - ・深谷 拓男 (矢吹町) 平成30年12月1日
 - ・古川 晃 (西郷村) 平成30年12月1日

編集後記

三十年の歴史を積み重ねてきた「平成」の時代も間もなく終えようとしている。平成最後となる今回の広報紙は、長年中心となって発行に取り組んでこられた緑川利衛氏の退任に伴い、新たなメンバーでの発行となりました。

多くの方々に白河地区保護司会の活動を理解していただけた紙面となるよう取り組んできました。発行に当たり、ご指導とご協力を頂いた会長をはじめ緑川利衛氏、多忙な中原稿をお寄せ頂いた皆様、感謝申し上げます。第八号をお届けいたします。(文責 秋山)



保護観察官となつて

白河地区担当保護観察官 佐藤 美奈

私が保護観察官を補職して、早いものでもうすぐ二年が過ぎようとしています。

保護観察官をしていて一番に感じていることは、たくさんの人に会ったということ。中には普通に生活していても、中には普通でないだろうという人たちがと出会うこともあり。私たちが初めて出会って一番印象的だったのは、覚せい剤の依存を抱える人や、ダルクなどその回復者の方です。おかげで覚せい剤には少し詳しくなりまし。こういった人達と実際に会って話が出来るのは、更生保護に携わる者の醍醐味ではないかと思ひます。

その人を知ることは、更生保護の第一歩です。もしこの仕事をしたいなれば、犯罪者は怖い人、近づきたくないと思ひ続けていたかもしれない。しかし、実際に会って話してみると、極悪人なんてほとんどいません。それどころか自分の過ちに悩み、苦しんでいる人がたくさんいます。地域住民の中にはかつての



私のように考えている人もいるかもしれません。その中で保護司さんは、地域の住民でありながら、更生保護を支える大変貴重な存在です。保護観察対象者にとって保護司さんとの出会いは、とても良い出会いであることでしょう。これからもぜひ協力して更生保護に取り組んでいきたいと思ひます。御協力どうぞよろしくお願ひいたします。

視察 研修

更生保護施設視察 千葉刑務所

千葉刑務所視察 研修に参加して

研修部会 石田 久美子

歴史ある千葉刑務所を視察出来た事は、とても有意義であった。規則正しい生活と刑務が営まれ、受刑者の人権が尊重されている事に感銘した。食事はそしやくが悪い人のために流動食が用意されている。又、介護が必要な人の入浴は介護士が補助している。

受刑者の作業も間近で見学出来た。プラスチック製品、印刷物、タンス、神輿等である。特に神輿は人気があるそう。犯罪者でも技術を修得し、その技術を向上すれば技能士となり得る。

刑務所も高齢化している。彼等が出所した時、身元引受人はいらぬだろうか。もし引受人がない時、高齢な彼らはどうなるのか。この問題を考える研修となった。私達保護司として一考しなければと思ひます。研修旅行の企画、運営にたずさわり、参加された保護司の先生方にお礼申し上げたい。



研修旅行に参加して

研修部会 松尾 千鶴子

先日、十月十七日に保護司会、OB会、更生保護女性会合同の研修旅行が行われました。これまでは一泊二日という日程でしたが、初の試みとして日帰りの研修旅行となりました。本部と研修部会が何度か話し合い、場所や日程などについて

検討し実施することになりました。私も研修部会の一員として参加させていただきとても勉強になりました。研修の場所は千葉刑務所でした。レンガ造りの立派な建物でした。皆さん黙々と作業されておりました。お話を聞かせていただき、いろいろな取り組みや御苦労がわかりました。研修旅行でいろいろ勉強させていただきました。ありがとうございました。



今年度の活動

1 第六十八回 社会を明るくする運動

(1) メッセージ伝達

矢吹町(7月2日) 三森会長より野崎町長へ

白河市(7月4日) 保護司、更生女、少年指導員、白河第一小児童クラブの皆さん立ち合参加 渡邊観察所長より鈴木市長へ

西郷村(7月2日) 三森会長より高橋村長へ

泉崎村(7月2日) 三森会長より久保木村長へ

中島村(7月2日) 三森会長より加藤村長へ

(2) 街頭啓発活動

二班編成で大型店頭にて実施。渡邊観察所長、各種団体参加。

西郷村(7月26日) 大型店頭でチラシ配布

白河市(7月4日) 大型店頭でチラシ配布

(3) 他団体との連携事業

① 青少年健全育成活動

(イ) 第三十八回小・中学生将棋大会 泉崎村(7月13日) 地区防犯指導隊と合同事業

(ロ) 白河市(6月2日) 県大会予選会を兼ねる 白寿園にて

(ハ) 西郷村長旗ソフトボール大会 西郷村民野球場にて

(ニ) 青少年健全育成推進大会 市内八中学校の代表者が発表

(ホ) 白河市(7月9日) 白河市文化交流館コミネスにて

(ヘ) 白河市(6月23日) 大型店頭でチラシ配布

② 薬物乱用防止啓発活動

(ホ) 矢吹中学校訪問(七月二日) 矢吹中学校と地区保護司との相談会実施。(作文コンクール参加・健全育成全般について)